

修理・修繕 よみがえるものの命

廃 棄物資源循環学会誌第35巻第3号市民編集特集「リペア・リユースと循環経済」（2024年発行）をもとに、『循環とくらし』第13号では、市民が日々、直面する修理の状況や対策に焦点を当てた「修理・修繕 よみがえるものの命」特集を企画しました。

まだまだ使えるのに、部品がないから買い替えなければならない、修理してもらおうと凄くコストがかかる、自分で修理できるならやってみいたいなど、修理に関しては、皆さんもいろいろ思うところがあるのではないのでしょうか？

今号では、そんな疑問に答えられるよう、第1部では、私たちが、自分で修理しようとするときに是非知っておきたい話を、第2部では、修理に関する現状と課題についての記事を掲載しています。

みずから修理をされる方々からは、共通して、修理や修繕は決して「もの」を元どおりに直すだけの話ではなく、修理を通して「もの」との関係性を深め、自分を含めた人や時間との出会いを再構築していくことであり、そこに人は喜びや豊かさを感じるということが語られています。

創意・工夫を重ねて「もの」を作り、壊れた「もの」を修理・修繕しようとするのは、誰もがもっている潜在的な希求なのかもしれません。

皆さんも是非、捨てられるものを減らし、楽しみながら、できる範囲で修理・修繕して、新たな喜びを見つけていただければと思います。